

仙台市における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

# 「ピアサポートの活用に係る事項」に関する 検討の進捗について

仙台市精神保健福祉審議会作業部会

# I 審議会からの付託事項等について

# 1 審議会から作業部会への付託事項

- 「地域における支援体制のあり方」の3つ目のテーマである「ピアサポートの活用に係る事項」の検討にあたり、審議会からは、以下の4点が付託された。

- ① 多くの当事者がピアサポートに関心を持つための工夫
- ② ピアサポートに関する学びを促進するための工夫
- ③ 当事者の情報交換や共有を進めるための工夫
- ④ ピアサポートの活動場所や活動形態を増やすための工夫

## 2 作業部会の構成

- 作業部会は座長および副座長のほか、ピアサポートに関連する業務や事業に従事する10名の委員で構成した。
- その内、当事者は4名、支援者は6名とした。

	委員名	所属
座長	西尾 雅明	東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科
副座長	佐久間 篤	東北大学病院精神科
委員	秋庭 賢一	宮城県立精神医療センター
委員	池田 裕道	仙台市精神保健福祉団体連絡協議会
委員	金ちゃん	劇団ピアそら！
委員	熊野 文香	クリアリングハウス仙台
委員	佐藤 健太郎	太白区障害高齢課
委員	下村 瑞希	精神保健福祉総合センター
委員	菅原 里江	東北福祉大学メンタルヘルスプロモーションセンター
委員	せこ 三平	相互支援PSI仙台わくわく
委員	鶴水 牧子	ピアサポートセンターそら
委員	山田 裕子	障害者支援課

## Ⅱ 作業部会における検討状況について

# 1 検討の進め方について

- 審議会からの付託事項に関する検討を進めるにあたり、作業部会では以下3点について整理する必要性が示された。

- ① ピアサポートは、自然発生的な友人同士をつながりから職業としてピアサポートを提供するものまで、活動のあり方は多様であることを踏まえ、検討すべきピアサポートの範囲と目指す方向性について整理が必要である。
- ② 本市では、これまでもピアサポートに関連する複数の事業を実施してきており、ピアサポートの活用の推進という点から、どのようなことが不足しているか明らかにする必要がある。
- ③ ピアサポートの活用を推進するためには、多様な立場の者の協力が求められ、関係者のピアサポートに対する認識や取組み等の現状を明らかにする必要がある。

## 2 ピアサポートの範囲と目指すべき方向性

### (1)作業部会で検討するピアサポートの範囲

範囲	内容
インフォーマルなピアサポート	制度化や組織化されていない自然発生的な仲間同士の支え合い。例えば、気の合った友人同士でお茶に行く、友人に勉強を教えてもらう、困っていることや悩んでいることを信頼している仲間に聞いてもらうなど日常的に誰もが経験したことがあるもの。
フォーマルなピアサポート	制度化や組織化された意図的な仲間同士の支え合い。作業部会においては、「当事者活動団体や自助グループによるピアサポート」、「ピアスタッフによるピアサポート」をフォーマルなピアサポートとして取り扱う。

### (2)ピアサポートの目指すべき方向性

誰もが安心して生活できる地域づくりに向け、ピアサポートが、当事者同士の支え合いだけでなく、支援者や地域住民との相互の深い理解に基づく協力関係を築けるようにするべきである。

### 3 ピアサポートの活用の推進の観点からみえる 既存の取組みの課題

■ 既存の取組み（参考資料1参照）から、以下4点の指摘がなされた。

- ① 当事者のピアサポートへの関心を高めるための情報の発信が十分になされていないこと
- ② ピアサポートの担い手を効果的に育成していくための方法が未確立であること
- ③ ピアサポート活動の継続や発展を支える機能が十分に整備されていないこと
- ④ 支援者のピアサポートに関する理解が不足していること

# 4 関係者のピアサポートに対する認識と取組みの現状

- 関係者の認識等を詳細に把握するため、以下の調査を実施することとした。

調査対象	調査の目的・内容	調査の方法
支援者	支援者のピアサポートに関する理解や認識、ピアサポートの効果を高めるための取組み等の現状を把握する。	アンケート (実施中)
ピアサポートに携わる当事者	ピアサポート活動の継続・発展のため、当事者がどのようなきっかけでピアサポートに携わるようになったのか、どのようなサポートを求めているのか等について把握する。	ヒアリング (今後実施予定)
ピアサポートに携わっていない当事者	ピアサポートに携わっていない当事者がピアサポートにどのようなイメージを持ち、どのような期待を抱えているのか等について把握する。	グループインタビュー (今後実施予定)

\* 支援者を対象とした調査の途中経過については、参考資料2参照。

## 5 今後の予定について

月	内 容
6月	<ul style="list-style-type: none"><li>○関係者の認識等を把握するための調査の実施、結果の整理<ul style="list-style-type: none"><li>➤支援者向け調査の集計</li><li>➤ピアサポートに携わる当事者向け調査および整理</li><li>➤ピアサポートに携わっていない当事者向け調査および整理</li></ul></li></ul>
7~8月	<ul style="list-style-type: none"><li>○第3回、第4回作業部会の開催<ul style="list-style-type: none"><li>➤3つの調査結果を踏まえ、付託事項について検討</li><li>➤「地域における支援体制のあり方」最終報告書案の作成</li></ul></li></ul>